

令和2年5月26日

保育の再開について

札幌国際大学附属幼稚園
園長 深浦 尚子

先日、緊急事態宣言が解除されました。それを受けまして、6月1日より保育を再開いたします。しかし、新型コロナウイルスの感染予防をしっかりと行いながらとなりますので、以前と同じようにはいかず、3密を避ける「新しい学校生活様式」を参考に慎重に再開いたします。

具体的には、通園、保育、預かりにおいて段階を踏んでまいります。

まず通園ですが、申し訳ありませんが6月については、3密の可能性が高いバス通園を行いません。保護者の皆さまにはご負担をおかけしますがよろしくお願いいたします。通園手段がどうしても都合がつかない場合は、遠慮なくご相談ください。

保育についても、手洗い、うがいを徹底することや密集を避けて遊ぶことを心掛けるためにも、バスコースごとの分散登園とさせていただきます。まずは少人数で、ゆっくり遊び、新しい園生活の習慣を身に付けることができるように援助していきます。

また、食事することは感染のリスクを高めるために、6月19日までは午前保育とさせていただきます。6月22日からは午後保育を開始し、7月からは徐々に登園人数も増やしていきます。

預かりについては、ご不便をおかけしますが引き続き3密を避けるために保育が必要と認定されている新2号さんの利用に限らせていただきます。しかし、緊急のやむを得ない事情がある場合は、遠慮なくご相談ください。

夏休みの開始については、1週間遅らせ8月3日からとさせていただきます、保育時間を確保していきたいと思っております。

保育再開後は、長い休園を行ってきたことによる子どもたちに対しての影響を考え、安心して遊び、満足感が得られる保育を行ってまいります。それと同時に、集団生活における感染防止の習慣を身に付けるために、並ぶ際にはソーシャルディスタンスを意識することや、手洗いやうがい、食事のマナーなども指導してまいります。

緊急事態宣言は解除になりましたが、これらから感染防止対策をしながらの園生活に慣れるためには、ゆっくりと慎重にすすめることで子どもたちに負担が大きくなるように細心の配慮をしております。その分、保護者の皆さまにはご負担をおかけすることが多くありますが、子どもとご家族、教職員の健康を守るためにご理解、ご協力をお願い申し上げます。

詳細につきましては、お便りを発送いたしましたのでそれをよくお読みください。よろしくお願いいたします。